



東山小学校だより

第14号 (HP版)

令和4年3月25日

教育目標「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

第20回卒業証書授与式



3月24日(木)、3名の卒業生が、東山小学校を立派に巣立っていきました。

本人たちは、緊張していないよとは言うものの、その表情や身のこなしから、身の引き締まる凜とした緊張感が伝わってきました。入場、卒業証書授与、ご祝辞に対する礼、呼びかけ、退場と終始落ち着き、堂々とした態度で式に臨む姿を見て、卒業式への思いとこれまでの成長が感じられました。

東山小学校後援会 会長様、副会長様におかれましては、ご多用の中、ご来賓としてご臨席を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

式後の在校生によるお見送りは、卒業式とは雰囲気を変え、最後のお別れを明るい雰囲気、感謝の気持ちを紙吹雪に乗せて行いました。児童玄関ホールでは、3年生によるエールが行われ、卒業生の中学へ行ってからの活躍をみんなで祈念しました。

このようなやりとりの中で、在校生は6年生の思いを受け取り、今度は自分たちが東山小学校をよりよいものにしていこうという気持ちを高めていくのだなと感じずにはいられませんでした。

児童玄関を出ると、牛太郎が出迎えていました。牛太郎を管理していただいている平澤様が、牛舎から連れてきてくださいました。三代目牛太郎は、牛舎から学校に来るのは初めてだったので、1km弱の道のりに、1時間くらいかかったそうです。お手数料をお掛けしました。そして、卒業式の参加者全員で記念撮影を行いました。この、屋外でのやりとりの間だけ、素晴らしい青空が見えていました。卒業生の日ごろの行いのよさと、前途を祝しての天からの粋な計らいでしたね。



転出職員のあいさつ

1・2学年担任

東山小学校の子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様には、たいへんお世話になりました。

着任して間もなく、子どもたちの歌う「闘牛の歌」の素晴らしさに胸打たれことを、昨日のこのように覚えています。新しいことを学ぶ喜びに目を輝かせ、自分たちの住むこの地域を心から愛する“山っ子”たちは、東山の宝ものです。この学校で、保護者の皆様、地域の皆様に支えていただきながら過ごせた3年間は、私にとっても宝ものとなりました。

いつの日か東山を、小千谷を背負って立つ“山っ子”たちと皆様に、またお会いできる日を楽しみにしたいと思います。ありがとうございました。

親子メディアコントロール講演会

3月22日（火）に、親子メディアコントロール講演会を実施しました。

講師をお迎えし、インターネットとの上手な付き合い方やゲーム依存について、親子でお話をお聞きしました。

ゲームや動画を見るだけでなく自分の夢を叶える手段としてインターネットを活用する事例の紹介、依存症にならないためには「このときはやらない」と行動できる力が大事だというお話が、特に印象に残りました。

春休みを前に、メディアの時間を制限しようとする子どもたちの意欲が高まり、親子で取り組める環境が作られたかなと感じました。



6年生からの贈り物

3月22日（火）、6年生が昼休みに、全校児童を体育館に集めました。何があるのかなと覗いてみると、6年生からのお礼の贈り物がみんなに手渡されました。歯みがきセットなどを入れてくださいと巾着袋を手作りしたようです。いつの間に！という感じです。巾着袋を喜んで受け取る在校生でした。



日々の教育活動、子どもたちの様子については、東山小学校のホームページをご覧ください。「小千谷市立東山小学校」で検索するか、下のアドレスまたは、右のQRコードにアクセスしてください。

https://www.city.ojiya.niigata.jp/east_mt/

